



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

…会員随時募集中!…

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内 TEL/FAX : 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時
Web URL : <http://www1.ocn.ne.jp/~ya-yato/> Eメールアドレス : ya-yato@arrow.ocn.ne.jp

(写真) 田植えに備えて新天地での苗床作り



ひと雨ごとに暖くなって、角ぐんだ新芽も蕾も開花を待ちわびています。長かった冬の忍耐と疑念を払拭して、新しい年度の訪れとともに、谷戸の命の復活を期待します。

新たな企画をそろえて、多くの方のご参加をお待ちしています。

春の谷戸まつり

4月29日(日)10時~14時・荒天中止

炊き出し(谷戸鍋・餅・ご飯他)

体験コーナー、谷戸産の頒布など

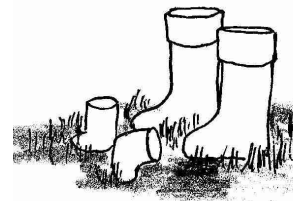
炊き出し頒布券配布 11時~ 炊き出し 11時半~

★エコに配慮し、お箸、お椀をご持参ください。

もくじ

- ☆谷戸塾募集→2p ☆
- 各班からのお知らせ→3p ☆谷戸
- の自然だより→4p ☆谷戸往来→5
- p ☆谷戸の体験学習→6~7p ☆
- 3~5月の日程表(裏表紙)

第4期 “谷戸塾” 受講生募集!



谷戸塾は初めて参加される方を対象とした講座です。今年で、4期目を迎え、さらに内容を充実させましたので、ぜひ、継続会員の方も受講ください。

作業の講座は、新設された生きもの観察を含む4コースです。座学の講座は散策などを取り入れた6回になりました。毎回、講座には保育が付きます。子連れでの参加も可能です。

申込み：会員申込みの後、登録してください。

対象：小学5年生以上

説明会：4/8(日)鎌倉中央公園管理棟2階研修室 10:00~12:00

新しく「生きもの観察」
コースが増えました!

年間スケジュール(予定)「神奈川県もり・みず市民事業支援補助事業(一部)」

作業(9:30~12:00)					講座 (13:30~15:00)
月	田んぼ	畑	雑木林	生きもの観察	
4	種蒔き	さといもの植付け	畑周辺の草刈り		谷戸とは・谷戸の田畑
5	田うない くろつけ	さつまいもの苗植え		植物調査	
6	苗取り・紐張り	いんげんの種蒔き	土手の草刈り	野草畑の手入れ	
7	田の草取り	ごまの種蒔き	土手の草刈り	田の植物観察	谷戸の田畑と生きもの
8	ネット張り		畑周辺の草刈り 土手の草刈り		
9	すがい作り はさ作り	大根の種蒔き	畑周辺の草刈り	バッタ・コオロギの分布	
10	稲刈り 脱穀	さつまいもの収穫		湿地の植物観察	
11		たのくろ豆の収穫	雑木林の除間伐 畑周辺の除間伐	野草の種の観察	
12		畑の土作り	雑木林の除間伐	野鳥観察	雑木林の管理
1			竹切り 畑周辺の除間伐	野鳥観察	昔の谷戸
2	苗床作り	さつまいもの苗床作り	木障切り	野鳥観察	鎌倉の緑地と里山
3	道具の手入れ	道具の手入れ	道具の手入れ	帰化植物除去作業	市民活動と里山保全

*収穫物の一部を、月1回の食マークの日、12月予定の親睦会で試食できます。*内容は変更することがあります。

初心者大歓迎!

「神奈川県もり・みず市民事業支援補助事業」

“水質調査隊” 募集

谷戸の命である水の管理人として活動しませんか。水中生物の観察から水質調査も行います。生きもののために水路の手入れもします。会員申込みの後登録してください。

全5回(1回参加も可) 作業時間: 9:30~12:00 集合: 農家風休憩舎

日程: 4/23(月) 5/7(月) 6/18(月) 7/30(月) 8/6(月)

各班からのお知らせ



田んぼ班

★3/4(日) 苗床肥料入れ ★11(日) 道具の手入れ
★25(日) 畔の整備

苗床の水はけがよ過ぎるので、育苗には毎年悩まされています。田んぼに作ってみたり、保湿シートをかけてみたり、あれこれやってみましたが一長一短ありました。今年は灌漑ができる場所を開墾して、そこに作ることにしました。スコップと三本鍬でひと通り耕し終え、クワ、クズ、スギナなどの根っこを取り除いているところです。苗床となるまでは、まだまだ手間がかかりますが、これに賭けてみたいと思います。



畑班

★3/4(日) 耕し・ねぎの種蒔き ★11(日) 道具の手入れ
★18(日) 堆肥蒔き・草取り・耕し ★25(日) 草取り・耕し



今年は立春を過ぎててもいつまでも寒く、また雨も少なく、谷戸の畑の野菜は生育が遅れ気味ですが、炭焼き小屋の上の畑ではそら豆が、疎林広場には小麦が育っています。新年度の4月に入ると同時に、ごぼう、こんにゃく、さといも、かぼちゃ、そばなどの種蒔きと植付けが続きますが、3月はその準備の時期で、畑を整え、農具の手入れをします。普段できない鍬や鎌の手入れを一緒に体験してみませんか。



雑木林管理班

★3/4(日)、11(日) 除間伐

今シーズンは5本の枯れ木、密集木、根の部分が浮いて危険な木を伐採しました。伐採木は薪にして乾燥させています。公園内の樹木の種類と大きさのサンプル調査を実施しています。測定結果によれば、1haあたり約1350本の樹木があることがわかりました。今後は、伐採木の整理、草刈りなどの作業になります。皆様の参加をお待ちしています。



農芸班

2011年度も多くの方に手作りのよさ、楽しさを知

味噌作り



っていたくことができました。

新年度は6月の梅干し作りから始まります。気持ちを新たに、谷戸の資源を大切に使い、保存食の価値とおいしさを追及していきたいと思います。



自然遊び班

★3/11(日) こども里山一日体験「早春の谷戸で昔遊び」
★3/18(日) 父子の里山体験
「雑木林の除間伐と生きものの観察」



ヒメコウゾで紙漉き

地元の方の子どものころの話を聞きながら、昔遊びをします。一緒に谷戸を歩いて春の足音を聞きに行きます。

谷戸の自然だより

～ ヒキガエル ～

ガマガエル、ガマ、イボガエル、これらは全部、ヒキガエル（アズマヒキガエル）のことです。

貫禄のある姿のせいか、昔から魔力を持つ生きものとされ、実際、皮膚から毒を分泌することもあります。触るくらいでは毒を出しません（その後は手を洗うこと）、いじめると犬が倒れるくらいの毒を出すそうです。オタマジャクシにも毒があるのか、カルガモなど天敵に食われることが少ないようです。寿命が長く、30年以上生きた記録があるそうです。

3月のひな祭りが過ぎる頃、池でクククッ・コココッとささやくような笑い声が聞こえたら、ヒキガエルが集まってきた証拠です。数匹から数十匹のヒキガエルが団子のようにもつれあって、うどんのようなニルニルした卵を産むのです。毎年同じ池で産卵します。5月末～6月半ばには5mmくらいの真っ黒なカエルに育って上陸し、秋にはアマガエルくらいの大きさに育ちます。オスは最低でもトノサマガエルくらい（体長10cm、100g以上）、メスはより大きく（体長13cm、約200g）育たないと繁殖に参加できないようです。おそらく、生まれてから3～4年以上しないと繁殖できないでしょう。大きなカエルは数が少なく、繁殖個体として重要なようです。庭で大きなヒキガエルを見つけたら大切にしてください。オスとメスでは顔つきが違い、オスは口が尖ったキツネ顔、メスは丸顔のタヌキ顔なものも面白いところです。ヒキガエルは、田んぼがなくても緑の多い住宅地なら生息できるので、環境破壊に強いと言われてきました。しかし、近年は池のある住宅が減り、ヒキガエルが産卵できる場所は激減しています。水辺が残る谷戸の環境は貴重です。

鎌倉の谷戸では、田んぼや水路に産むこともありますが、湿地の水たまりに産む場合が多いので、アカガエルに比べるとやや日陰で、深くて広い水たまりが産卵場所として適しています。谷戸のヒキガエルの産卵を20年以上観察していますが、池と違い、湿地の水たまりは数年で埋まってしまうことがあります。毎年、掘り直すなど手入れが必要です。昔はたくさん見かけたヒキガエルですが、今やヒキガエルの産卵場所を意識的に守るべき時代になったと感じます。また、ヒキガエルが来るような湿地の水たまりは、ホトケドジョウやシオカラトンボの生息地としても役立っていることが分かりました。今、危惧されるのはアライグマの影響で、産卵中のヒキガエルが襲われる事故が起きています。谷戸では安定した産卵場所が2か所あったのですが、一度アライグマに襲われた産卵場所は、ヒキガエルが来なくなりました。今年はどうなるか注目しています。



生態系保全班

★野鳥観察 3/25(日) ★湿地の手入れ 28(水)

繁殖期をむかえたメジロやシジュウカラのさえずりを聞き分けます。



植物育成班

★早春の野草観察 3/7(水) ★野草の種蒔き 20(火・祝)

★帰化植物の除去作業 21(水)

谷戸で採れた野草の種を畑に播きます。

お楽しみ会も
できます

谷戸保全作業希望団体参加募集

グループで作業に参加してみませんか。会員登録、谷戸まつりの手伝い、谷戸塾受講をしていただきます。年間数回の保全作業（田畑の耕作や湿地復元など）を受け付けます。選考があります。



谷戸往來 谷戸往來 谷戸往來

春の七草&とんど焼き

1/14(土)

山崎地区の行事を継承して5回目となるとんど焼きが行われ、当会が育てた谷戸米を粉に挽いて、丸めた団子(写真)を炙って、1年間の無病息災を祈りました。



神奈川県環境科学センターの講座を開催 2/4(土)

地域生態系保全の基礎と環境保全活動の実践を学ぶ目的で、遠方から25名の方が谷戸を訪れました。当会の活動に大変関心をもっていただき、実践活動(帰化植物の除去)にも熱心に取り組みました。
＜参加者の声＞「自然の維持管理の大切さ大変さを実感した」「農文化を守る意義は大いにあると思う」「現地を見てよかった、谷戸が壊されずに残っているし、これを実現している市民活動が良いからできるのだと感じた」「実際活動されている方々の話を現地で見ただけでなく、少し作業を体験させて頂きとてもよかった」「素晴らしい環境でそれが長年の活動の成果であること、活動内容がよくわかった」「スタッフの方々の優しさが、谷戸の景色に現れていると思います」

毎回好評！ 父と子の里山体験

11月からほぼ月1回、十数名の親子が伐採、薪割り、なわ結び講習、かまどでマッチを擦ったの火起こしなどの体験をしました。毎回、子どもとともに、親たちからも、「木が倒れる瞬間の音や、足に伝わる地面の響きがとても大きくすごかった」「伐採が山にとってよいことだと知らなかった」「体験とともに雑木林のお話をうかがって何とも言えないほど今日は感動した」「谷戸で遊ぶ子どもたちはとても活発」といった感想をいただいています。より多くの方に体験してもらおうと、来年度も実施予定です。



帰化植物の除去作業中



のこぎりでの伐採体験

中学生の下草刈りに今年も協力 2/27(月)、28(火)

例年、この時期に近隣中学校3年生による、里山の保全作業が鎌倉風致保存会主催で行われ、当会も指導に協力しています。今年は深沢中学校 150名、玉縄中学校 198名が、のこぎりや刈り込みバサミを使って作業に取り組みました。「楽しい!」という言葉があちらこちらで聞かれました。おかげで谷戸の隅々がきれいになりました。

